

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療情報システム等標準化推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	①平成16年度、②平成19年度		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：福原康之		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-7 医療を始めとする社会保障分野の情報化を推進するとともに、社会保障・税に関わる番号制度の実現に向けた検討に参画する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成18年1月：IT新改革戦略 平成19年3月：医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成20年8月：重点計画2008 平成21年4月：デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月：i-japan戦略2015 平成22年5月：新たな情報通信技術戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①高度医療情報普及推進事業 医療機関間等の連携や情報共有が図られるよう、電子カルテ等医療情報システム等で使用する医療用語等のマスターを整備する。 ②医療情報システムのための医療知識基盤データベース研究開発事業 医療分野の情報化に伴い蓄積される医療情報には様々な表現で入力が行われているところであり、同じ意味でも多様な表現があることから統計処理困難となっている。また、臨床研究や医療安全を推進する観点から、異なる表現であっても同一の意味する用語を一つの用語として整理できる電子辞書的なソフト開発を行うものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①高度医療情報普及推進事業 電子カルテ等医療情報システムで使用するため、必要な共通の情報基盤となる用語・コードについて維持・管理を行い、医療機関が無償でダウンロードできるようにしている。 ②医療情報システムのための医療知識基盤データベース開発事業 医療分野の情報化に伴い蓄積される医療情報には様々な表現で入力が行われているところであり、同じ意味でも多様な表現があることから統計処理困難となっている。また、臨床研究や医療安全を推進する観点から、異なる表現であっても同一の意味する用語を一つの用語として整理できる電子辞書的なソフト開発を行うものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	/					
		繰越し等	/					
		計	218	206	196	196	196	
	執行額	218	203	196	/			
	執行率(%)	100.0%	98.5%	100.0%	/			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	情報医療用語等のマスターの整備については、定量的評価は困難		成果実績					
			達成度	%				/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	医療用語等の標準マスター等のダウンロード件数		活動実績 (当初見込み)	件	41,185	57,640	70,048	— () ()
単位当たりコスト	519 (円/件)		算出根拠	36,354,000円/70,048件=519円 平成22年度の①高度医療情報普及推進事業(36,354千円)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	高度医療情報普及推進事業費	36	36					
	データベース研究開発費	160	160					
	計	196	196					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	予算要求の方法について改善していく点がある場合には、的確に予算に反映してまいりたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
執行状況・成果実績等を踏まえ、より効率的に事業を実施してまいりたい。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

①高度医療情報普及推進事業

厚生労働省

【医療機関間等の連携や情報共有が図られるよう、電子カルテ等医療情報システム等で使用する医療用語等のマスターを整備するための補助】



【公募】

A. (財)医療情報システム開発セン

医療用語などのマスターの維持・更新等を行う。

②医療情報システムのための医療知識基盤データベース開発

厚生労働省
160百万円

【医療分野の情報化に伴い蓄積される医療情報を整理するシステムに対する補助】



【公募】

B. 国立大学法人 東京大学
160百万円

(医療知識基盤データベースの開発を行う。)



【委託】

C. 民間会社等(4)
36百万円
...(株)エネゲート 15百万円

(システム開発)

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.(財)医療情報システム開発センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	マスター作成・維持管理に係る経費	30			
その他	通信運搬費、印刷製本費、会議費等	2			
旅費	委員等旅費	2			
消費税	消費税	2			
計		36	計		0
B.東京大学			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	教員給与、職員賃金、諸謝金	92			
委託費	人件費等	36			
一般管理費	大学の管理経費	14			
消費税	消費税	8			
その他	備品購入費、借料及び損料、会議費等	6			
旅費	職員旅費等	4			
計		160	計		0
C.(株)エネゲート			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	医療知識基盤データベースの拡充(ソフトウェア開発)	15			
計		15	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)医療情報システム開発センター	マスター作成・維持管理	36		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	医療知識基盤データベースの拡充等	160		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エネゲート	医療知識基盤データベースの拡充(ソフトウェア開発)	15		
2	大阪大学	医療知識基盤データベースの拡充(法造拡張等)	13		
3	(株)ケーアイエス	医療知識基盤データベースの拡充(検査項目DB開発)	4		
4	(株)データインデックス	医療知識基盤データベースの拡充(医薬品DB開発)	4		